

65人、熱闘譜

新春囲碁・将棋大会



出部公民館主催「新春囲碁・将棋大会」が2月1日、下出部公民館（囲碁・杉ノ木公民館（将棋）の2会場で行われた。囲碁の部37人、将棋の部28人（子どもの部12人）が出席、盤上で熱

戦を展開した。上位入賞者は次の皆さん。（敬称略）

◎囲碁の部	A級優勝	坂本 等
	準優勝	井上 利之
	第三位	安部 弘和
	準優勝	松田 鉄男
	準優勝	仁科 孝
	第三位	木坂 貢
◎将棋の部	A級優勝	原田 芳弘
	準優勝	山崎 清治
	第三位	藤岡 道夫
	B級優勝	妹尾 義勝
	準優勝	三宅 定幸
	第三位	高田 和雄

ご近所さん

地域のためにと満中陰志のご寄付をいただきました。謹んでお礼申し上げます。（敬称略）

（出部社協）
金高洋子 亡父

C級優勝 上野 智雅
準優勝 安井 悠弥
第三位 高原 尚也

久安陸夫 亡妻
千々木健治 亡母
倉田真紀 亡夫
吉水信次 亡父
（中部自治連合会）
山崎秀樹 亡母
佐藤勝利 亡母
田中文雄 亡父
三宅範男 亡妻

（下出部自治連合会）
佐藤紘之 亡長男
田中廣治 亡父
谷中洋友 亡父
山足範夫 亡母
出原康弘 亡父
吉水信次 亡父

故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

千々木後援会 広島へ応援ツアー



Vプレミアリーグ堺ブレイザーズの千々木駿介選手後援会は1月11日、広島グリーンアリーナでのサントリサンバーズ戦に出場した千々木選手を応援しました。

には会員38人が参戦。根限りの声援を送りましたが、試合には敗れましたが、千々木選手の今後の活躍を予感させる試合内容でした。広島からの帰途、小谷SAで偶然にも千々木選手に遭遇。一緒に記念写真を撮らせていただきました。（藤井秀典）

新出部公民館竣工記念いけばな展

吉岡知翠先生米寿を祝う社中展

4月18日（土曜日）10:00～17:00
4月19日（日曜日）10:00～16:00



編集後記

新しい出部公民館が完成した。人と環境に優しい交流拠点だ。公民館に多くの人が集まれば、地域に活気が生まれ勢いづく。まちづくりのハード面は整った。次は活性化に向けて地域がひとつになるソフト面の充実が求められる。新しい皮袋に入れる新しい酒が必要だ。住民をまちづくりへ誘う酔わせるような仕掛けを考えていきたい。

(S・F)

ふるさとと生活部

第7号

発行日
平成27年3月31日

発行者
いづえ地区
まちおこし協議会
0866-62-3960

地域の交流と活性化の拠点となる新しい出

部公民館が完成し3月29日、関係者が出席して竣工（しゅんこう）式と祝賀会があった。ユニバーサルデザインに配慮した設計で、子どもから高齢者までが、いつでも気軽に集える場として期待されている。



た。利用者の安全を考慮し2階にバルコニーを設けている。

全部屋にペアガラスを採用。太陽光発電（8kw/h）も備え付けエコを推進する。災害時の備えとして手押しポンプ2台も設置した。

竣工式では瀧本豊文市長らがテープカット。祝賀会には地区民から約80人が出席し新しいふれあいの場の完成を祝った。

まちづくり・交流の拠点



新公民館が完成

人と環境に優しく



旧出部公民館は築後40年を経過し老朽化したため、市が建て替えた。新公民館は鉄骨2階建て80平方メートル。市内の公民館では一番広く、旧公民館の2.6倍の規模となっている。総事業費2億8000万円で昨年5月に着工した。

段差を極力なくしたうえ、エレベーターを設置しバリアフリー化に努め

ゆったり集いの場



炉がきってある和室



100人以上が集える多目的ホール



IH調理器のある調理室



災害時の準備として設置した手押しポンプ

階段には手すりが備え付けてある



最新の新公民館



屋根には8KW/hの太陽光発電装置を設置



環境に配慮して全部屋にペアガラスを採用



エレベーターで上り下りは安心快適



利用者の安全を考え設けたバルコニー

公民館だより

☆利用予約は基本的に3カ月前から受け付け。事務所窓口の使用予定簿に記入するか、電話で申し込む。利用後は必ず使用届に記入。

☆管理者が不在時の入退館は、各自が責任を持って開錠及び施錠。

☆ゴミは各自持ち帰り。

☆館内はすべて禁煙。

☆コピー機、印刷機の利用は無料。紙持

新公民館利用の手引

参。以上、基本的に以前からの方法と大きく変わりません。変更点は次の通り。
①和室、調理室、研修室以外は土足②トイレ照明は自動点灯③湯沸し室もIH調理器④夜間など管理者不在時は、代表者が事務所南側外部ドアから入館。主事の勤務は午前9時から午後5時まで（水曜日は午後1時まで）。ただし土・日・祝日は休み。

協議会だより



花いっぱい耐えて開く

冬の寒さに耐えてかれんな花が咲いていた。数や種類は少ないけれど見る人の心を癒す。「花いっぱい」は厳しい季節のなかでも、まちに彩りを添えてくれる。

お祝いメッセー

市教育長 片山正樹

新しい出部公民館の落成おめでとうございます。昨年、大江公民館に続いての建設です。先の出部公民館は建設から40年が経過してしました。市内公民館は老朽化が進んだところから随時建て替えが進められています。各地区公民館での活動は以前にも増して活発になり生涯学習の地域拠点として大いに活用されているのは誠に喜ばしいことであります。
先般、出部公民館の藤井秀典館長が新公民館への荷物移動で見つけられた亡父作詞、中島昭二さん作曲「鯉の川慕情」の録音テープを返却していただきました。なくさずに保管していただいたことに感謝しています。楽しいいわれの

67人、和やかプレー

12月6日、四季が丘の市グラウンドゴルフ場で、第1回出部地区社会福祉協議会グラウンドゴルフ大会を開催しました。
(三宅文雄)

初の社協Gゴルフ大会



当日は、強烈な寒波が南下し日本列島をすっぽり包んで、当地区周辺も同様で非常に寒い一日となりました。

た。グラウンドゴルフの大会は私たち生きがい健康部の役員にとっては、初めての取り組みということ、若干戸惑いもありましたが、皆さま方のご協力のおかげで大変スムーズに行うことができました。成績はともかくとして、寒風吹き抜けるなか67人の方々に参加をいただき、親睦を深めることができました。「次回はもっとよい時候に開催してもらいたい」との要望を受け今後、検討していきたいと思っております。

気軽に参加でき、皆さんと共に楽しむことができる競技のグラウンドゴルフ。今後このスポーツが地域にしっかりと根付いてくれるよう願って解散しました。

関係者のみなさんに厚く御礼申し上げます。
出部地区社会福祉協議会

※給食サービスは、27年度も11月から予定しています。

給食サービス 26年度は終了

平成26年度事業の給食サービスは、3月8日で終了しました。調理や配達していただいたボランティア、女性会、愛育委員、出部小学校児童のみなさん大変お世話になりました。

こんにちは赤ちゃん

「ふるさと出部」では出部地区の赤ちゃんを紹介します。掲載するのは①名前(ふりがな付き)②生年月日③性別④町名⑤顔写真。保護者の連絡先を添えて出部公民館(〒715-0021、井原市上出部町1219)まで郵送するか持参してください。メール(izue-km@ibara.ne.jp)でも受け付けます。※掲載は2歳まで。



山下 琉斗ちゃん

男の子(26年10月27日) 笹賀町



佐藤 彩葉ちゃん

女の子(26年10月16日) 四季が丘

大胆に扇の的 郷土の味付け



男性料理教室 与一寿司に挑戦

出部地区社会福祉協議会主催の男性料理教室が11月19日、出部公民館の調理室で開催されました。メニューは与一寿司、白和え、ダイコンとニンジンのお澄まし汁でした。与一寿司は井原の特産ブドウジュースを入れての料理でした。具はエビ、酢魚、扇の的に切ったレノンコン、ニンジン、かまぼこなどユニークな混ぜ合わせで

器にご飯を盛り、エビ、錦糸卵、インゲン、紅ショウガを使って扇の形に飾り付けるのに苦労しました。全員で昼食を兼ねた試食会をしました。井原らしいメニューだったので大好評でした。隠し味として蜂蜜を少々入れることで、ひと味変わった寿司になりました。

初めてちらし寿司をつくりましたが、男性が料理に取り組むのはすごく大変でした。毎日、料理をしている女性を見直しました。(石丸操五)



ふるさと探検隊

険しい山道 歴史感

出部地区青少年を育てる会は2月21日、ふるさと探検隊イベントとして西部地区の史跡めぐりをした。出部小学校の児童や保護者たち30人が、郷土の歴史などについて理解を深めた。

市まほろば館の高田知樹さんの案内でリフレッシュ公園を出発。山の中腹に建立した岩屋観音院、戦国時代に伊達大蔵の居城だった出部富士山頂に広がる戸木荒神山城跡、単調な街道だった旧山陽道に変化をつけ旅情をなぐさめた大曲跡を回った。

デイサービスセンター・サントピアは、昨年9月にオープンし、半年が過ぎようとしています。理学療法士のもと、個別機能訓練のプログラムを行い、リハビリ機器を使用しているトレーニングやマッサージを実施しています。

施設紹介



デイサービスセンター
＝四季が丘



営業のご案内 TEL0866-65-1655 FAX0866-62-8262
 営業日：月曜日～土曜日 休業日：日曜日、年末年始(12/30～1/3) お盆(8/13～8/15)

サービス提供時間
 ①午前10時～午後3時30分
 ②午前9時～午後4時10分 (営業時間：午前8時半～午後5時半)
 定員数30名

いきいき元気を応援

またレクリエーション活動として手作りおやつ、鍋パーティー、手巻き寿司、そば打ち体験など楽しい行事やボランティアによる和太鼓と三味線の会、大正琴の会など毎月盛りだくさんのイベントを開いています。

サントピアでは、在宅で生活されている利用者やご家族の思いがけない、明るくいいきいきと元気になって、やりたいことができる場所を目指して職員一同、心をこめてお手伝いしています。

介護認定を受けられている方で、興味のあられる方はいつでもご連絡ください。職員一同お待ちしております。

見守り隊 ジャンパー



出部地区社会福祉協会・児童育成活動部会は、赤い羽根共同募金と出部社協の助成により「出部地区子ども見守り

隊」ボランティア用のジャンパーを作りました。ジャンパーは人目を引く黄色。背に「いずえ見守り隊」の文字、胸に「でんちゅうくん」のキャラクターが描かれています。登下校時の見守りで着用し、活動していただきます。(徳毛直善)

出部地区いきいきサロン交流会
 5月14日(木) 午後1時半～3時半
 場所 出部公民館多目的ホール
 参加費 200円
 内容 各サロンの出し物や展示
 会食・レクレーションなど

※参加申し込みは4月30日までに各サロン代表者に連絡してください。

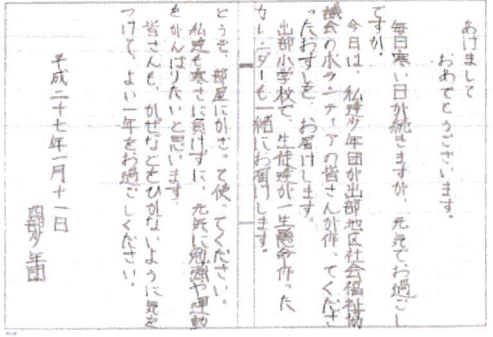


ぬくもり届ける

西部少年団が友愛訪問

友愛訪問として出部西部地区の少年団員たちが1月11日、それぞれの地区の一人暮らしの高齢者の家を訪れました。民生委員とボランティアによる手作り弁当に、アによる手作り弁当に、出部小学校児童の作った

カレンダーと団員からの手紙を添えてお届けしました。「お体に気をつけて、いつまでも元気であってください」と、笑顔で弁当を渡すと、高齢者の方々から、「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただきました。



井原市の養成講座で始めた要約筆記を20年、またレザークラフトを35年、習い続けています。私は今この二つをがんばっています。

小田 敦子さん
 二下出部町



学び楽しみ人つなぐ

要約筆記とは、聴覚に障害があり手話が使えない方のために、話している内容をその場で書いて伝えるものです。この頃

はパソコンを使うことが多くなりました。今は井原要約筆記クラブの一員として、10人の仲間と活動しています。

しなやかでぬくもりのある作品

この要約筆記を多くの人に知ってほしい、利用してほしい、仲間に加わってほしい、と願っています。責任のある活動です。革の素材を生かす。一方、レザークラフトはまさに『楽習』です。革の素材を生かす

て小ささまざまな身の回り品や室内装飾品などを、仲間が集いワイワイ言いながら、それぞれが好きなのを作っています。新しい情報や技法を習得するために、広島教室へも通い続けています。物づくりは出来上がった時の喜びが大きく、本当に楽しいものです。

もう少しの間、この二つをてんびんにかけて、励んでいこうと思っています。



小さなギタリスト

出部地区文化祭が2月14日、出部小学校で開かれた。芸能の部には12団体150人が出演。歌や踊りなどに熱いパフォーマンスを繰り広げた。作品展示には公民館講座受講者たちの書や絵画などが並んだ。



朗々と



美声



子ども神楽

熱演、みんなが主役



バトンも踊る



裏方さん大忙し



ダンス



笑いヨガ



名MC



あでやか



ミニ琴の調べ



元気いっぱい



響けハーモニー

哀感のメロディー



光る手仕事

無限の創造



サロンの力作



文芸・油絵



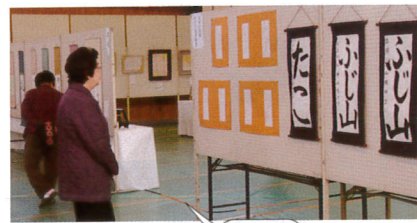
世々世々世々世々世々



写仏



園児や小中学生の夢いっぱい



書



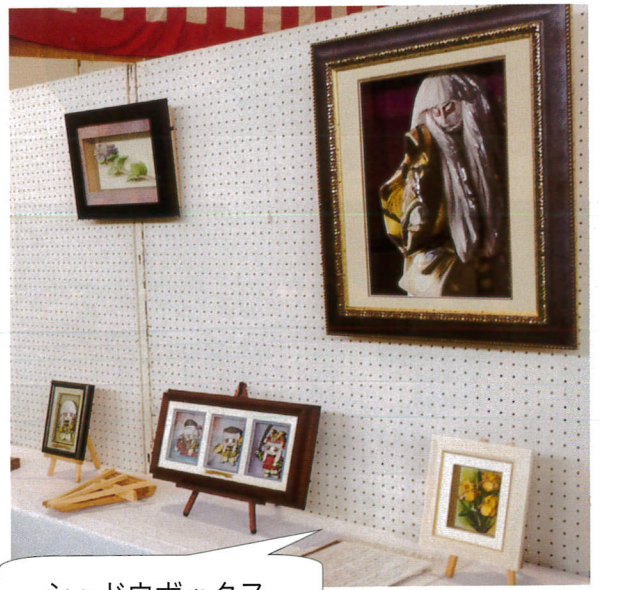
花



手芸



句



シャドウボックス

全戸でクリーン大作戦



七日市町内全戸による一斉清掃「年末クリーンキャンペーン」を12月21日に行った。

師走の寒い朝、自治会長を中心に自治会ごとに30分程度、道路、水路、土手などのごみを拾った。可燃物と不燃物をボランティア袋に分別し回収。清潔な環境のもと、気持ちよい新年を迎えることができた。
(齋藤国臣)

身近な力作大集合

七日市文化祭

第28回七日市文化祭が11月16日、七日市公民館、武速神社境内を会場に



開かれた。公民館内には書道、絵画、生花、盆栽、陶芸、写真、文芸、工芸、手芸、ちぎり絵、シャドウボックスなどの作品を展示。来場者は家族や知人の力作に見入っていた。境内ではイベントとして女性会を中心うどん、喫茶コーナーが設けられ、秋晴れのもと和やかな笑い声の輪が広がっていた。作品はキッズクラブ、幼稚園児、小・中学校の児童・生徒、一般の方々など182人から263点の展示があり、見応えある盛大な文化祭となった。
(藤代和弘)

とんど願いや届け

正月用飾りや書き初めを燃やし、家内安全や学力向上を祈願する「とんど祭り」が1月12日、七日市公園で催された。竹のやぐらをわらで囲い、正月用飾りや書き初めを飾り付けたやぐらに少年団代表2人が点

火。一気に燃え上がるやぐらとともに、正月飾りや書き初めの燃えかすが天高く舞い上がった。火勢が弱まったあと、餅などを竹の先にはさんで焼いた。集まった200人余にぜんざいが振る舞われた。
(川本昌志)



晴天に恵まれた1月7日、七日市福老会は総勢25人で吉備路三社を巡った。菜の花もほころびはじめた吉備路。シンボルの五重塔を横目に、まず神話と古代ロマンが息づく全国唯一の国宝でもある比翼入り母屋造りの吉備津神社を訪れた。360坪の回廊から鳴釜神事や温羅伝説をしのびながら本社殿まで参拝。ご利益に「吉備津のこまいぬ」を授かった。
吉備路三社を巡る
七日市福老会
続いて桃太郎のモデルとなった大吉備津彦命を御神体としている吉備津彦神社へ。備前国の総氏神として親しまれ、備前一宮ともいわれる神社に参拝した。ホテルで食事に舌鼓を打った後、県護国神社へ。護国神社は明治2年に備前藩主池田章政公が戊辰戦争の戦死者を祭ったことが起源となっている。その後の奥羽、箱館戦争から太平洋戦争までの県内の戦死者や戦病者まで、今日の平和の礎となった方々が祭られている社で、初めて参拝した会員がほとんどだった。
(藤代淑躬)

七日市少年団

テーマパークを満喫



七日市少年団は1月7日、親睦旅行で香川県丸亀市の「ニューレオマワールド」を訪れました。団員18人・保護者19人・家族9人の計46人が参加。晴天に恵まれ、子どもも保護者も時間がたつのを忘れるくらい遊びました。

井原駅を午前8時半に出発。バスに揺られてニューレオマワールドに到着しました。ジェットコースターや大観覧車などのアトラクションを楽しみました。帰り道、与島SAで土産物を買いました。午後5時半ごろ井原駅に到着。無事、親睦旅行を終えました。
(花岡武則)



奮闘 しめ縄飾り作り

11月9日、七日市少年団が第2回資源回収を行いました。団員の減少により資源回収も困難になってきているため、回覧版で町民の皆さんに「可能な方は集積場まで持ち込んでください」とお願いをしました。多くの方

資源回収に 住民も協力

11月9日、七日市少年団に集積場まで持ち込んでいただきました。当日は早朝より雨。悪条件下での資源回収でしたが、地域の皆さまのご協力により、多くの資源を回収することができました。ありがとうございました。
(花岡武則)

七日市自治連合会、福老会、小・中PTA、少年団は12月13日、正月を彩る「しめ縄飾り作り」に取り組んだ。七日市公民館に小学生から大人まで50人余が集合。初心者には稲わらによりをかけての縄作りから教わった。メガネタイプの上め縄飾りに挑戦したり、縄をリース状にして飾り付けたオリジナルの上め縄飾りを作ったりした。
(川本昌志)

四季が丘自治会だより

防災ウォーク 危険箇所点検

2月1日、いづえ地区まちおこし協議会の防災部、各自治連合会役員、消防団が参加して防災ウォークがありました。地域を挙げて互いに協力しあえる防災組織づくりを推進する必要があります。市防災マップなど手に、いづえ地区を歩いてみました。地域を知ることから災害に備えることが大切で、なにげなく歩いていた場所が、視点を変えて歩いてみたら危険だと気づいたところもありました。



仲よし会 花で和む

アレンジメント体験



2月の出部中部仲よし会は菊井優子先生の指導でフラワーアレンジメントを習いました。

まず、メーンとなる花を生け、周りに花と色のバランスを考えながら一本一本丁寧に挿していきます。

花材も菜の花や桃の花などがあり一足早く春を感じられました。サロンの皆さんも最初は緊張気味に取り組んでいました

が、表情が柔らかくなるにつれて、オアシスには花や葉でいっぱいになるのに驚きました。

先生がたった一本向きを変えただけでお花がかわいく感じられるのには驚きました。

アレンジセンスはさておき楽しく学習できたことが一番よかったです。

心が病んでいる時、お花と会話ができたらきっと癒されるでしょう。

これからも楽しいサロンをみんなで計画しますので中部地区の皆さん、杉ノ木公民館に足をお運びください。(原田節子)

みんなで地域の防犯

出部中部自治連合会の役員は12月25日、「年末夜警」を行いました。

東西2組に分かれ防犯灯の設置状況や危険箇所を確認。途中何度か無灯火の自転車の注意をしました。

昨年は交通事故も多く啓発活動の大切さを感じています。

また自動販売機荒らしが多発しています。特に運動公園やリフレッシュ公園周辺が要注意のようです。(多賀正浩)

コミュニティーをベース

広げよう生き活きの場

江戸時代の儒学者である佐藤一斎(さとういつさい)は、生涯を通して「学ぶ」ことの意義を次のように説いています。

「少にして学べば、すなわち壮にして為すことあり。壮にして学べば、すなわち老いて衰えず。老いて学べば、すなわち死して朽ちず」

私たちの地元公民館である「出部中部杉ノ木公民館」は平成元年、当時の諸



不審者にお気づきの方は警察にお知らせ下さい

先輩方と地元の皆さんのご協力、また、市からは1500万円余の補助金をいただき建設されました。

現在まで地元自治会、消防団、女性会など多くの方々に支えられ、地域の活動の場として役割を果たしてきました。

その歴史は4分の1世紀を超えました。この間に刻まれた成果を、今後さらに拡充していくのが、今を生きる私たちの役割でもあります。

「協働」「絆」「結い」「コミュニティー」「生きがい対策」「生涯学習」などの実践を通し、新たな視点を含め、「地域のことはそこに住んでいる私たちが主役である」との想いをあらためてかみしめ、「活動拠点」として、今春新築された「出部公民館」ともども、地域の皆さま方ますますのご利用を期待しております。

(三輪順治)

家後屋さくらんぼの会

さくらんぼの会の会長を受けてはや5年。前会長笠原氏より「お前、やれ」と言われて引き受けました。

最初は1年に2、3回の集まりでした。「花見など近所の奥さま方の友好の

笑顔満開 保つ若さ

場を」と、市社会福祉部からの要望で発足した会でした。

それが、社会福祉協議会の岡田氏や民生委員の木山氏からの要請により、さくらんぼの会を「サロン」として月1回の活動をすることな

りました。毎月の活動をするにあたり会員の皆さまの意見を取り入れております。今、会員の登録数は25人。毎回の出席数は15人です。私は会員皆さまの居心地の良い会になるよう毎回頑張っています。

出部福寿サロン

大橋三世交代交流サロン



出部福寿サロンは、前老人会会長の石丸さんが立ち上げられ、毎月第2木曜日午後1時半から下出部公民館で開いています。

会員は現在32人、平均年齢は76歳です。市の福祉包括センターの方の指導により、手を動かしたり、頭の体操をしたりして、いつも笑顔で楽しんでいきます。また老人会と合同で桜祭り、日帰り旅行、グラウンドゴルフなど

も行っています。年会費1000円で若返り効果を期待して、健康で長生きしましょう。

(藤井八重)



2014/11/11

(石崎徹)

とんど、高く遠く



ご厚志

出雲農耕道管理会様

「下出部自治連合会」